



マキノスミレ

1、2023 年度葦毛湿原の動物調査

2022 年度に引き続き、2024 年 3 月末までの一年間、二の沢で赤外線センサーカメラによる動物の定点撮影を行いました。二の沢での撮影は 2016 年から開始し、8 年間撮影を行っています。二の沢以前に設置していた四の沢での撮影を含めると赤外線センサーカメラによる撮影は 10 年以上が経過しました。動物がぶつかって設置してあった木から落ちて撮影されていなかったり、動画が不鮮明になったりと様々な不具合が見られます。長い間頑張ってくれましたが、そろそろ限界かもしれません。

葦毛湿原では、昨年度から湿原内の植物に対する動物の食害を監視するために、赤外線センサーカメラを設置しています。詳細はデータがまとまってから別途報告します。

1) 調査方法

2023 年度は、二の沢の T 地点で撮影を継続しました。撮影は、昼間はカラー、夜間はモノクロになっています。これは、夜間撮影時にカラー撮影するためにはフラッシュが必要になるので、動物を驚かさないうに継続して調査をするためです。

動物の撮影は葦毛湿原の植生への影響、アライグマ等の外来種の確認のために継続して行っています。

2023 年度は昨年と比べ撮影回数がかかなり減りました。二の沢は高さ 2～3 m 程度の低木が進出して全体を覆い見通しが悪くなり、藪になっています。カラスザンショウは 3～5 m ほどになり頭一つ抜け出して大きくなっています。裸地状態から遷移が進み、撮影される動物も変化しています。特にニホンカモシカが多く撮影されるようになりました。ニホンカモシカは昼に活動しており、葦毛湿原の一の沢から三の沢の周辺で、来訪者に年数回目撃されています。

表 1 種別撮影回数一覧表

番号	種名	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ニホンイノシシ	4							2			1	1	
2	ニホンノウサギ													
3	ホンドタヌキ	2					1							1
4	ホンドキツネ													
5	ハクビシン	1									1			
6	ニホンイタチ													
7	ホンドテン	3									2			1
8	ニホンリス													
9	ニホンアナグマ													
10	ヤマシギ	2							1					1
11	コジュケイ													
12	ノネコ													
13	ニホンカモシカ	9		1	1	2	1	1	1	1		1		
14	ハシボソガラス													
15	ハシブトガラス													
16	不明													
	合計	21	0	1	1	2	2	1	4	1	3	2	1	3

2) 調査結果

2023年度は延べ21回撮影されました。内訳は表1、図1・2の通りです。前年度の2022年度（葦毛通信 No. 137：138）は65回でしたので撮影回数は約70%減り、過去最低になりました。

2023年度の月別撮影回数は10月が4回でピークになり、12月と3月は3回、他は1～2回となっています。

撮影された動物は6種類のみで、最も多いのは、ニホンカモシカで9回（43%）撮影されました。昨年は32回（49%）で、回数は大幅に減りましたが、割合はほぼ同じです。ニホンイノシシは4回（19%）で昨年の13回（20%）とほぼ同じで、この2種類で全体の約60%になりました。

これ以外は、ホンドテン3回（14%）、ホンドタヌキ2回（10%）、ハクビシン1回（5%）、鳥類のヤマシギ2回（10%）となっています。

撮影回数は昨年よりも約70%減りましたが、ニホンカモシカとニホンイノシシが多いという傾向は昨年とほぼ同じような状況です。ニホンノウサギは2021年度が21回、2022年度が1回、2023年度が0回で、2022年度に大きく変化して、今年も同じ傾向が続いています。ニホンカモシカは2021年度が8回、2022年度が32回、2023年度が9回でニホンノウサギと同様に、2022年度に大きく撮影割合が変わっています。2022・2023年度の撮影回数は大きく減りましたが、ニホンカモシカとニホンイノシシ

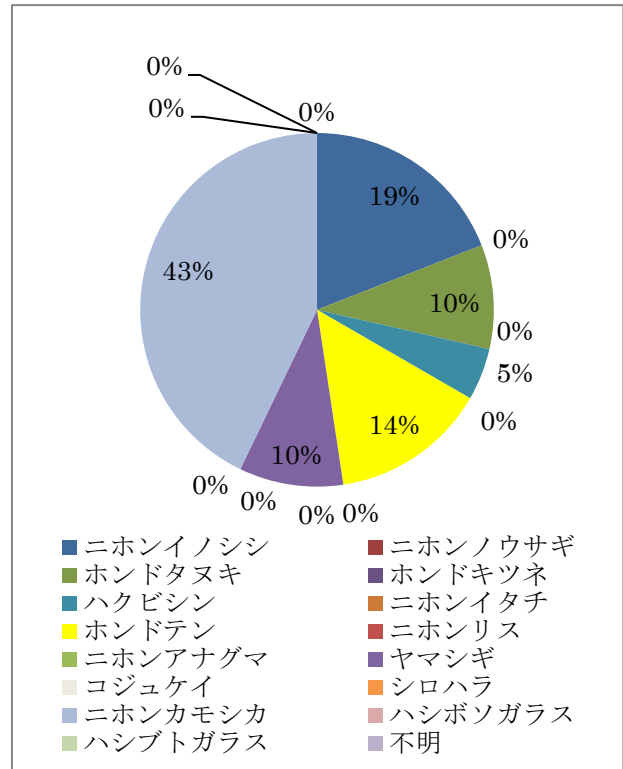


図1 種別撮影回数割合

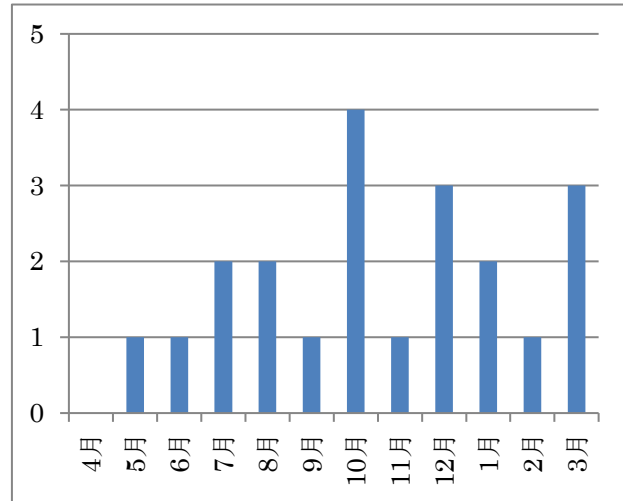


図2 月別撮影回数



ハクビシン（2023年12月4日）



ホンドテン（2023年12月23日）

を中心とした撮影割合は同じ傾向です。撮影された動物には、2021年度と2022年度の間に大きな変化があったことはわかりますが、原因についてはよくわかりません。

前頁下と以下の写真は2023年度に撮影された6種類の動物です。



ニホンイノシシ (2023年10月3日)



ニホンカモシカ (2023年10月1日)



ニホンカモシカ (2023年5月15日)



ホンドタヌキ (2024年3月29日)



ホンドタヌキ (2023年8月3日)



ヤマシギ (2023年12月24日)

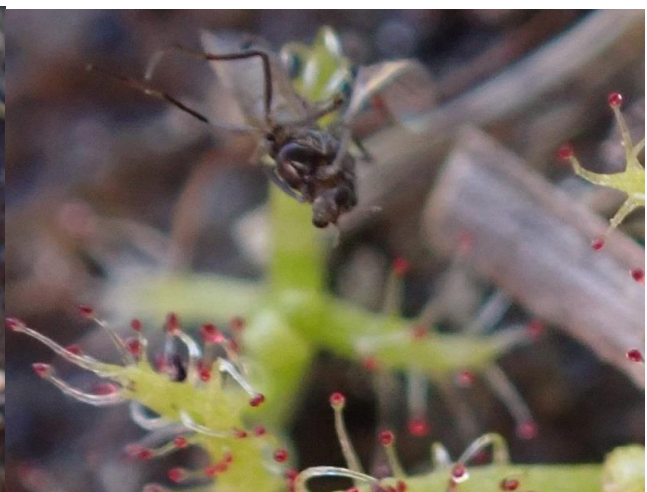
2、ナガバノイシモチソウが発芽しました！

ナガバノイシモチソウの発芽を4月17日に第7地点で70個体以上確認しました。今年度の初確認です。4月25日には第1～8の全地点で発芽を確認しました。おそらく一万



ナガバノイシモチソウ自生地（2024年4月25日）

ナガバノ発芽状況（4月25日）



集中発芽状況（2024年4月25日）

捕虫状況（4月25日）

個体以上発芽していると思われ
ますが、あまりにも小さくて計
測不可能です。

また、十字に開いた葉は長さ
が2～3mmほどですが、すでに
虫を捕まえています。上写真左
の集中発芽しているところの左
上に虫が捕まっています。

昨年の作業でトウカイコモウ
センゴケやオトギリソウの自生
部分の地表面を削らず残すよう
にしましたが、今年は個体数も
増えて、トウカイコモウセンゴ
ケはすでに花茎が上がってきて
います。開花ももうすぐです。



トウカイコモウセンゴケ（2024年4月25日）